

**令和元年度（2019年度）第1回（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会
意見交換概要**

開催日時	令和元年（2019年）7月9日（火）19：00～20：30		
開催場所	第十中学校 1階多目的室	傍聴者数	2人
出席者	委員	<p>【庄内小学校】北島委員、東阪委員、富田委員、井本委員</p> <p>【野田小学校】谷口委員、児島委員、藤野委員</p> <p>【島田小学校】瀧田委員、須賀委員、米田委員、中尾委員、森委員</p> <p>【第六中学校】亀谷委員、増森委員、川田委員、吉田委員</p> <p>【第十中学校】中北委員、伊原委員、北野委員</p>	
	事務局 その他	<p>【教育委員会事務局】 岩元教育長、小野事務局長、田中教育監、寺田次長、井角参事 蓮池学校施設管理課長、眞田学校教育課長、野田主幹（計画担当） 濱副主幹、上松主査、高橋主事、西山教育推進コーディネーター</p> <p>【都市経営部】岩佐創造改革課長、橋本主幹（南部地域活性化担当）、上野主事</p> <p>【市民協働部】荒木南部地域連携センター長</p>	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育長挨拶 2. 出席委員紹介 3. 「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」と開校準備委員会について 4. 委員長、副委員長の選出 5. 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討状況について 6. その他 		
配布資料	<p>【資料1】（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会設置要綱</p> <p>【資料2】（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会 委員名簿</p> <p>【資料3】（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた準備委員会会議の傍聴要領</p> <p>【資料4】（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討の進捗状況について</p> <p>【資料5】庄内地域の小中学校が豊中初の「義務教育学校」に変わります</p> <p>【参考】庄内地域における「魅力ある学校」づくり通信 第11号</p> <p>【参考】庄内地域における「魅力ある学校」づくり計画についてよくある質問と答え</p>		

1. 教育長挨拶

2. 出席委員紹介

3. 「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」と開校準備委員会について 事務局（資料1・3についての説明）

4. 委員長、副委員長の選出

委員長の選出について、設置要綱に基づき、委員の互選により、北島委員が選任された。続いて、副委員長の選出について、同要綱に基づき、北島委員長の指名により、中北委員が選任された。

5. 意見交換

○（仮称）庄内さくら学園の開校に向けた検討状況について 事務局（資料4・5についての説明）

委員長

- ・ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問等があればいただきたい。

委員

- ・千成小学校区かつ第六中学校区の子どもたちは来年度から第十中学校まで通うこととなり、通学距離が2 km以上になるが、自転車通学などは検討しているのか。

事務局

- ・第六中学校と第十中学校が約1.1 km離れているので、過渡期においては通学距離が最長で2.5 kmほどになると想定している。本市では徒歩による通学を基本としているが、第一中学校では一部地域に自転車通学を認めており、第十一中学校では自己負担でのバス通学を認めているということがある。しかし、教育委員会として庄内さくら学園中学校で自転車通学を認めることは考えていない。

委員

- ・子どもたちの登校の様子がどんなふうになるのか、一度、教育委員会の方も一緒に学校までの道のりを歩いてほしいが、企画すれば来ていただけるか。

事務局

- ・通学路の担当職員とともに参加させていただく。

委員

- ・野田小学校は庄内小学校を受け入れることになるが、体育館が雨漏りしている。いつ避難所にな

るかもわからないので修繕をしていただきたい。

学校施設管理課

- ・先日の雨に関わってのものは、まだ把握をしていない。状況を確認した上で、できる対応をさせていただきます。

副委員長

- ・資料5の「9年間を見据えた教育活動の充実」に「英検3級程度の英語力をつける」とあるが、めざすのであれば2級だろう。府立高校の入試では、英検2級を持っていると、当日のテストが0点でも80点になる。義務教育学校であれば、それだけの学力をつけてやりたいというのが教員の思いである。他の自治体の義務教育学校では学力がかなり上がっている。ぜひ期待していただければと思う。

委員

- ・野田小学校への通学路を考える会に参加し、通学路に想定されるルートに課題があると思われる箇所がいくつかあった。今週、庄内小学校で行われる説明会で説明していただけるのかもしれないが、例えば、横断歩道を新たに作るなどの対応は可能なのか。また、資料5に「タブレット端末は児童生徒全員に配備」とあるが、これは決定事項なのか。

事務局

- ・今週、庄内小学校の保護者の方を対象に「魅力ある学校」づくりの進捗状況の説明会を行うこととなっており、その中で通学路に係る現在の検討状況を説明したいと考えている。資料5に記載している内容は、あくまでも検討中のものであり、まだ予算要求もしていない状況であるが、このような方向性をめざしていきたいと考えている。

委員

- ・来年度に中学1年生になる子どもたちは、庄内さくら学園中学校に入学して3年間過ごし、卒業する年に母校がなくなってしまう。何かできないだろうか。
- ・前回会議の際は、校舎が早く完成すれば年度途中からでも新校舎を使用するという話があったがそれはなくなったのか。

事務局

- ・年度途中の引越しについては賛否両論あるが、現在実施設計中であり、工事の進捗状況を見ながら検討することとなる。
- ・開校に向けての過渡期において、ご意見の通り、来年度の新中学1年生は庄内さくら学園中学校しか知らないことになる。庄内さくら学園中学校は（仮称）庄内さくら学園の後期課程にあたるので、（仮称）庄内さくら学園での取り組みを先行して庄内さくら学園中学校の段階からできないかと考えている。先ほどの説明で申し上げた通り、英語とICT教育に力を入れたいと考えてい

るので、庄内さくら学園中学校でも取り組んでいきたい。

委員

- ・年度途中の引越しについては良し悪しがあるのだろう。新しい学校に行けるかは別として、その子どもたちに何か工夫ができないかと思う。

委員

- ・通学路について、稲津町から（仮称）庄内さくら学園までは結構な距離がある。安全確保には取り組んでいただきたいと思う。

委員長

- ・他にご意見等はないか。

事務局

- ・資料の校章案は、本日、標準服製造業者から提案されたものである。デザインについて何かご意見があればいただきたい。

委員

- ・どのような色をつけるかで印象が大きく変わると思うが、まずはモノクロで考えるということか。

事務局

- ・校章はモノクロで使用する場面が多いので、まずは色の先入観のない状態で検討を進めている。

委員

- ・子どもたちにも意見を聞くのか。

事務局

- ・該当校の児童生徒と教職員を対象にアンケートを取る予定である。

委員

- ・複雑なデザインではなくて単純なものの方が良いのではないか。

委員

- ・デザイン案はこれからもっと出てくるのか。今回の提案で終わりか。

事務局

- ・今回のものがベースになると考えている。

委員

- ・参考に現在の校章を並べてもらえると比較しやすいのではないかと。

委員

- ・市内の小学校にも桜を使用した校章が何校もあったと思うが、業者はそのようなものを参考にしているのか。

事務局

- ・業者が市内の小学校の校章を参考にしているかはわからないが、「庄内」という文字のデザインはオリジナルである。
- ・昨年度の開校準備委員会の中で出された意見や思い、学校の歴史など、アイデアになりそうなことを業者に伝え、デザインをしてもらっている。もっとこうしてほしいというご意見があれば、それを業者に伝え、デザインを精査していく。

委員

- ・何か経過があってこのデザイン案になっているのだと思うが、今後どのように決定していくのか。

事務局

- ・今回の案は、標準服を作成するにあたって、校章をエンブレム等に使用するという提案を標準服製造業者からいただいたことから、デザインを事務局より依頼し、提案されたものである。今後は、子どもたちを中心にアンケートを取り、その結果を踏まえて決定していきたい。標準服については、教職員で組織する検討委員会で議論を進めているところであり、あわせて検討していきたいと考えている。

委員

- ・子どもたちからデザインを募集しないのか。大人が作ったものよりも思い入れができるのではないかと。

事務局

- ・子どもたちから募集するというのも検討したが、専門性の高い分野になるので、プロの方に依頼する方が良いのではないかと考え、標準服とのつながりから標準服製造業者に依頼させていただいた。

委員

- ・全部をデザインしなくても、子どもが考えたデザインのニュアンスだけを取り入れるということもできるのではないかと。今の時期なら夏休みの宿題にできるのではないかと。

委員

- ・例がないと先に進まないのので、業者にデザインを上げてもらったのは良いことだと思う。子どもなので好き勝手に描くのだろうが、それを集約していく時間はあるのではないかな。

委員

- ・ペン先のデザインがあるが、今の子どもは万年筆のペン先を知らないのではないかな。

委員

- ・校章は標準服製造業者にデザインしてもらわないといけないのかな。

事務局

- ・特に標準服製造業者でないといけない理由はないが、スケジュール等の関係もあり依頼させていただいた。今回いただいた意見も含め検討していきたい。

委員

- ・時間的に許すのであれば、デザイン募集もよいのではないかな。

委員

- ・一方的に決められるより、自分たちも参加したといった工程を踏んだ方が長い歴史の中で違ってくると思う。今まで校章はどのように決めていたのかな。

委員

- ・それぞれ各校で決めていたのではないかな。

事務局

- ・事務局内でも子どもたちからデザインを募ってはどうかという議論もあったが、一人のデザインが後世にずっと残ることが良いのか悪いのかというところや、校名については検討委員会を設けて、多数決ではなく様々な角度から検討した経緯があるが、デザインとなると複数案を合体させることが難しいのではないかなといったことからプロの方に依頼する方が良いと考えた。

委員

- ・デザインを募集することでつくる力が養われるのではないかな。

事務局

- ・様々な角度から検討していきたい。

委員長

- ・みなさんからの意見にもあったが、プロのデザインを参考にしつつ、子ども達からの意見も聞いて

- たら良いのではないかと思うので、事務局内でも検討いただきたい。
- ・他にご意見・ご質問等があればいただきたい。

(意見なし)

6. その他

委員長

- ・次回以降の予定や連絡など事務局から説明いただきたい。

事務局

- ・本日「魅力ある学校」づくり通信の最新号（第12号）を発行し、明日以降、自治会や学校等へ配布を行う。
- ・次回の開校準備委員会は秋ごろを予定している。日程が決まり次第、ご連絡させていただく。

(以上)